

大切な命を救う その勇気

作者
芳原 さらさん
中野区在学

AED(自動体外式除細動器)を用いた応急手当の要領

AED(自動体外式除細動器)とは、Automated External Defibrillatorの頭文字を取ったものです。

1 肩をたたきながら声をかける



2 反応がなかったら、大声で助けを求め、119番通報とAED搬送を依頼



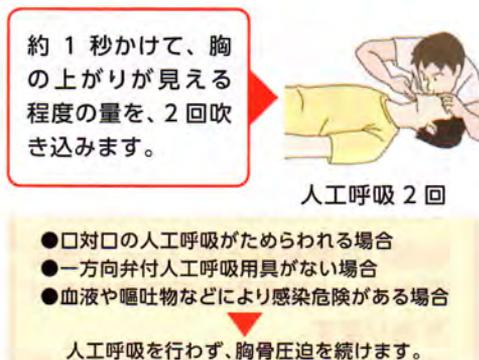
3 呼吸を確認する



4 普段どおりの呼吸がなかったら、すぐに胸骨圧迫を30回行う



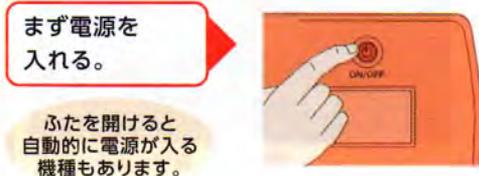
5 胸骨圧迫の後、人工呼吸を2回行う



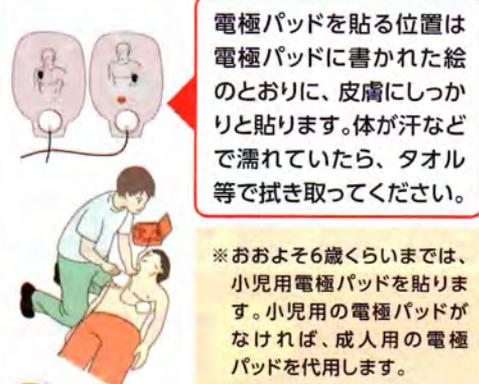
●口対口の人工呼吸がためられる場合
●一方方向付人工呼吸用具がない場合
●血液や嘔吐物などにより感染危険がある場合

人工呼吸を行わず、胸骨圧迫を続けます。

6 AEDが到着したら



7 電極パッドを胸に貼る



8 電気ショックの必要性は、AEDが判断する。



9 ショックボタンを押す



以後は、AEDの音声メッセージに従います。

心肺蘇生とAEDの手順は、救急隊に引き継ぐか、何らかの応答や目的のあるしぐさ(例えば、嫌がるなどの体動)が出現したり、普段通りの呼吸が出現するまで続けます。

詳しくは東京消防庁ホームページへ

東京消防

検索



モバイルホームページへはこちらからアクセスできます

問合せ先